

2013 Vol.1特集「主体的に取り組む言語活動の工夫」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*『VIEW21』中学版のバックナンバーは「ベネッセ教育総合研究所」ウェブサイト(<http://berd.benesse.jp>)でご覧いただけます。

◎特集の「主体的に取り組む言語活動の工夫」は、まさに本校でも課題にしている内容であり、大変参考になりました。誌面では、単なる話し方や聞き方の指導が論じられているのではなく、その根底にある「問い」が生徒にとって大切であること、言語活動をしたくなる、あるいは必要となる文脈とすることなど、必然性とリアリティーを持って記述されていて、共感する部分が多かったです。
[岐阜県/K中学校]

◎横浜国立大・高木展郎教授のインタビュー、佐賀県小城市立三日月中学校での取り組みは、生徒の「分からない」という意識を授業後に「分かった」に変えるための取り組みとして、「リアルな問い」＝「知的な意欲を揺さぶる発問」がいかに大切であるかが具体的に述べられています。非常に参考になりました。
[岡山県/F中学校]

◎小城市立三日月中学校の「単元を貫く『リアルな問い』で学びの楽しさや価値に気付かせる」という事例には、気付かされることが多くありました。世の中にある事物のうち、生徒が興味を持てるようなものを単元に盛り込

んで問いとするという手法は、いろいろなことに応用できると思います。
[東京都/D中学校]

◎「言語活動をどう授業の中で組み込み成果を積み上げていくか」という点で、大阪府高槻市立冠中学校の実践は大いに参考になりました。「まなびのプラン」「まなびのステップ」は、生徒たちにとってイメージしやすく、しかも授業のポイントがつかめるものだと思います。教える側にとっても、これをしっかり押さえることによって、授業づくりがしやすくなります。使いこなすまでじっくりと練り上げてみたい事例であり、すぐに本校に取り入れたいと思います。
[鹿児島県/T中学校]

◎「これからの教育」の東京都渋谷区立松濤中学校は、ALT 4人を配置するなど、小規模校の持ち味を生かした実践に、マンパワーの部分では本校とギャップを感じましたが、英語の授業だけでなく、実技4科目の授業、修学旅行での他団体との連携と、一貫してコミュニケーションのための英語を使う場を設けていることに敬服いたしました。知恵と工夫次第で、いろいろな特色を出せると勇気をいただきました。
[長野県/I中学校]

読者モニター募集のご案内

『VIEW21』中学版では、企画や誌面づくりのFAXアンケートにご協力いただける先生を募集しています。今年度中学校にご勤務されている先生に、年5回程度のFAXアンケートをお願いする予定です。次回からのご回答謝礼として、1回につき500円の図書カードと本誌1冊を、中学校のご住所宛てに送付・進呈いたします。ぜひご応募ください。

◎応募方法〈締め切り: 8月30日(金) 受信分まで〉

下記の①～⑤をA4用紙1枚(書式自由)にご記入の上、FAX 0120-959-887(送信料無料)にお送りください。

①ご勤務先の中学校の郵便番号、住所 ②学校名 ③お名前 ④役職 [1:校長 2:副校長 3:教頭 4:教務主任 5:学年主任 6:研究主任 7:生徒指導主事 8:進路指導主事 9:一般教諭(担任あり) 10:一般教諭(専科) 11:その他] ⑤担任の場合の学年

*2013年11月中旬予定のアンケートの発送をもって結果のお知らせいたします。(応募多数につき、お願いが出来ない場合は9月下旬頃に封書にてご連絡いたします)

子どもは未来

ベネッセ教育総合研究所は、子どもたちの成長に寄り添う研究と社会への発信を通して、一人ひとりが学びに向かい、今と未来を“よく生きる”ことに貢献することを目指しています。

ベネッセ教育総合研究所

編集後記

今号より「ベネッセ教育総合研究所」から『VIEW21』を発刊する運びとなりました。今まで同様、学校現場が抱える切実な課題に向き合い、先生方とともに解決策を考えていくという編集方針は変えません。それに加えて、これからの社会を中学生が生き抜いていくために、どのような力や姿勢が必要なのかを探り、発信をしてまいります。今後ともご指導のほどよろしく申し上げます。

ベネッセ教育総合研究所 情報編集室室長 小泉和義

VIEW21 中学版 2013 Vol.2

2013年8月14日発行/通巻第318号

発行人 岡田晴奈
編集人 谷山和成
発行所 (株)ベネッセコーポレーション
ベネッセ教育総合研究所

印刷製本 凸版印刷(株)
編集協力 (有)ペンダコ
執筆協力 中丸満、長谷川教
撮影協力 荒川潤、川上一生、松原誠、南弘幸

イラスト協力 カモ、幸剛

◎お問い合わせ先

情報編集室
〒206-8686
東京都多摩市落合1-34
電話 042-311-3390